

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟

1 事業の成果

法人の設立理念である障がいの有無、年齢、性別等に関わりなくフロアホッケーの普及を通じて、地域社会における人と人の繋がりを再構築し、すべての人にやさしい社会の創造に寄与するため、各事業を推進した。

競技普及のため学校や地域サークル等に競技用具の貸し出しを行うとともに、指導者を派遣し、体験会等を開催し、実際に競技に触れることで競技人口の拡大に努めた。

競技の指導者を養成し、各地区で競技会を開催し、その成果を発表する場を設けるとともに、昨年引き続き東京都で全国大会である第11回全日本フロアホッケー競技会を開催して本連盟の事業を推進し、アスリートの感動の場を創造することができた。

こうした取組みの中で、平成28年度は大分県フロアホッケー連盟・東京都フロアホッケー連盟の二つの支部組織が設立され、各地域のフロアホッケーの拠点として活動を展開し、普及する足がかりができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の	受益対象者の範囲及び	支出額 (千円)
広報普及事業	平成27年度年次報告書の作成	9月30日	全国配布	16人	児童・生徒、障害者、社会人	259
審判員・指導者養成・体験会開催事業	指導者養成講習会の開催	6月4日～1月18日延べ7回	大阪府、長野県、東京都、神奈川県、千葉県	11人	教員、障害者、学生、スポーツ指導員、企業、延べ151人	429
	レフェリーの資質向上講習会	6月7日～1月18日延べ6回	東京都、長野県、広島県、	8人	フロアホッケー指導者延べ38人	
	レフェリーのフロアホッケー大会への派遣	6月4日～2月25日延べ5回	東京都、長野県、熊本県、広島県	5人	レフェリー派遣延べ75人	
	体験会・講習会の開催	4月3日～3月19日延べ38回	昭和女子大学、新潟県、東京都、神奈川県、千葉県	75人	児童・生徒、障害者、社会人 延べ1360人	
	用具の貸し出し	4月1日～3月24日延べ48回	長野県、熊本県、茨城県、千葉県、大阪府、福島県、東京都、神奈川県、宮城県、新潟	18人	児童・生徒、障害者、社会人 延べ4152人	

全国大会開催事業	第11回全日本フロアホッケー競技大会	10月1日～2日	東京都	35人	選手監督等468人、ボランティア・スタッフ233人	2,154
地区大会開催事業	第6回九州大会	10月23日	熊本市	80人	選手(児童・生徒、障害者、社会人)、ボランティア等延べ1884人	1,504
	第6回中国四国大会	2月25日	福山市			
	第6回関東甲信越大会	6月3～4日	長野市			
フロアホッケーを通じた地域の交流と絆づくりの促進に関する事業	東日本大震災復興支援「笑顔の絆フロアホッケー交流事業」	8月4日	長野県	3人	障害者、小中学生、スポーツ指導員等延べ60人	21
用具購入事業	用具の購入	6月20日～12月12日	長野県	8人	児童・生徒、障害者、社会人	171

合計(千円) 4,538

(2)その他事業

該当事業なし